

審査員の方々から

應募者の熱意に感謝す

岸邊福雄

× 今回は、前回よりも應募数が更に多かつた爲に、審査するにも一段と緊張したのであります。

× 一人の保姆さんが二十篇も投じて下さつたなど、實に嬉しかつたのであります。

× 『作くれ、作ければ、作られるやうになる』
× ミ、申すのが、私の激勵の標語であります。

× 今回の應募には、飛び切り優秀なのは、少なかつたが、いづれも素直に見たまふ、感じたままを歌にしてありますのが多かつた事は、やがての進歩を期待し得るものとして、斯様な奨励的な應募法の繼續せられます事を希望する次第であります。

× 當選歌には、曲を附けるこの約束を、強く引き受けられた爲にか、字足は揃つてゐましたが、詩趣を窮屈にされたものがありましたのは、お氣の毒に存じました。

× 併し、碁の稽古も定石から始め、歌の稽古も音階から始める如く、童謡を作りますにも字足を揃へるなごの約束に縛られるも、稽古する人の順序ある課程かこ存じます。

× 多作元より禮讀いたしますが、高い香氣のある諸家の童謡を心をひそめて讀んで頂きたい。此頃の雜誌や或はレコードに吹き込んであります、童謡には童心に逆くものとして腹だたく覺えるものも數あります。

× 手本は、高く仰ぐべきものであります。手近い間に合せものは模範とはなりません。其區別を十分に考へられますやう願ひます。

× 手本の選擇の出來ますやうになりますのも、創作の一順序でございます。